

## 「令和5年度 郡山市都市計画マスタープラン改定（案）」にお寄せいただいた御意見等と（実施機関）の考え方

受付番号	御意見	（実施機関）の考え方
1	<p>都市計画道路（大善寺～笹川二丁目線）の沿線は、現在、調整区域のために住居も店舗も建築できません。交通の便もよく平坦地であり土地利用し、人口増加を図ることが地域の発展につながると思います。</p>	<p>市街地外の土地利用の基本的な考え方については、「持続的な地域コミュニティの維持、立地特性を生かした地域活力の向上等、地域の実情に即したまちづくりを誘導する」こととしており、インターチェンジや主要幹線道路の既存ストックを活用し、周辺の土地利用と調和のとれた、物流施設等による産業振興に資するまちづくりを促進することと位置付けております。</p>
2	<p>一カ所修正が必要と思われる箇所がありましたので、ご検討ください。 改定(案)73の3-2(2)高次都市機能と居住機能の集積・誘導</p> <p>現案：「日常生活の中で必要となる商業サービス機能や高齢者福祉、医療、教育、子育て支援などの立地を誘導します。」とありますが、文意からすると、 修正案：「日常生活の中で必要となる商業サービスや高齢者福祉、医療、教育、子育て支援などの機能（or 施設）の立地を誘導します。」</p> <p>と考えます。</p>	<p>いただいた御意見を踏まえ、表記を見直します。</p>

「郡山市都市計画マスタープラン改定（案）」に対する提案  
 プラン全体を見て感じられるのは、阿武隈川東部地域については、美術館建設以後全く進展がなく、今後の展望が見て取れない。

交通網計画から外されている。GPS など活用し交通量の時間帯調査などなされているのだろうか？

あぶくま台団地、宮田団地、桜ヶ丘団地、舞木団地など、市街地調整区域の民間開発団地に対するケアが県、市等の公的機関が開発した団地に比べて十分だろうか？

中心市街の公園緑地は整備され、更に開成山公園の整備（公園内に商業者を入れるために立木等が伐採されては、緑あふれる静かな公園でなくなり残念）等がなされているが、上記団地は置いてきぼりにされているようだ。

郡山市の東部開発について主としてコメントする。

#### 1. 郡山東部地域の将来ビジョンを構築

東北の玄関口、太平洋と日本海を結ぶ交通の要として、また首都圏にも近く、J Rに隣接の好条件を活かした、公的な地域として開発する。

##### 1-1 JR 東口の位置づけ

長距離バス、観光バス、貸切バス等の発着とし、西口と役割を分担

1-2 JR 郡山駅の西口から東口間の線路上部（連絡通路の高さ）に北から南にかけて広域な矩形広場を設ける。

天井の一部は開閉式とし雨天時、厳冬時は閉じる。

広場の屋根は太陽光発電の屋根とし、脱 CO2 に貢献する。

用途：待合広場、小規模パフォーマンス会場、お土産店、軽食店舗、ギャラリー等

##### 1-3 保土谷化学工業郡山工場の移転促進とその跡地活用の推進

（国、県、市、JR、保土谷化学が定期的に会議を持ち将来構想を練る）

移転後の土地は国、県、市の所有とし、公的機関、教育関連の設備を建設する、

- ・首都圏の一部機能を受け持つ施設（東京から 1.5 時間の距離しかも JR 駅に隣接）

- ・多目的大規模総合イベント文化施設の設置（国、県、市が参画する）

（天井は一部開閉可能な全天候型）

（サッカー場、ラグビー場、運動競技場、水泳競技場、ライブコンサートホール）

（行政機関、etc. 国際的レベルのイベント）

首都圏仙台、新潟、浜通りからの交通の要に当たるためそれらの地域からの集客が期待される。特に新幹線利用では関東圏の一部といって良い。JR イベント割引券など発行すると効果が出る。並列してそれらの練習設備の他、国・県・市の出先機関、関連する商業・飲食街も設ける。行政・スポーツ・音楽・イベント等の総合交流地域として位置付ける。

また災害発生時の避難場所を兼ねさせる。

東部地域のまちづくり方針については、「豊かな自然環境に囲まれたゆとりある居住空間の整備を進め、安定的で心やすらぐ地域社会の形成」を図ることとしており、一定規模を有する既存集落においては、都市計画法を活用した持続的な地域コミュニティの維持について検討すること等を位置付けております。

今回いただいた東部地域のまちづくりに対するご意見は、今後のまちづくり政策に活かして参ります。

東部地区や駅周辺には専門学校も多く、学生達のスポーツ活動にも、また東部地区住民も合わせて利用できるようにする。

## 2. 阿武隈川東部地域も SDG s に沿った対策

### 2-1 現状：

- ・美術館建設当時、蒲浦古墳群・風土記の丘公園として整備が期待されていたが、その後構想がだされず何も進展していない。
- ・水害発生時は美術館通りの安原橋東側が水没することを度々。市街地への通行はもとより、川の被害側の南北への交通も不可となり、東側の山中への遠回りの迂回をしいられる。
- ・この地域には行政センターがなく、行政との交流接点は直接市役所なのか、不便を感じる。
- ・阿武隈台団地の出入り口の県道73号線は狭く曲がりくねり、第四中学校への通学路でもあり、朝夕は通勤の車で混雑している。また、阿武隈川の西の土手道路はさらに狭く、通勤車で混雑し、人は歩けない状況で、四中への通学路としては危険である。

### 2-1-1 対策：

#### a 東部に芸術・文化・史跡地域を整備

- ・音楽堂を美術館地域に建設、風土記の丘も整備し、音楽堂の屋上から郡山盆地を俯瞰し、阿武隈川の流れの背景し、那須、安積山、磐梯山、安達太良山、吾妻、蔵王等の展望ができるスポットとする。

#### b 阿武隈川東土手沿いに道路（安達太良ビューライン）を新設

常磐高速道路郡山東インターと中央工業団地入口と連結させる。

- ・東部地域には中央工業団地、食品工業地域、田村工業団地、北部工業団地、が南北に並んでおり、しかも郡山東 IC と連結しやすい配置となる。空港・国道49・工業団地・国道288・高速道路のアクセスが便利となる（商業、工業、通勤通学）東部バイパス幹線道路となる。
- ・朝夕の通勤時には郡山第四中学校脇の阿武隈川土手と東芳小学校前の交通混雑がなくなり安全が確保される。現在のサイクリング道路をもっと整備し水辺に親しむ地域とする。
- ・従来の道路は生活道路として安全性が確保される。
- ・住民立ち退きなどないので計画振興が見える。
- ・その道路から阿武隈川を挟んで西に見る安達太良連峰の景観はすばらしく、郡山をアピール出来る。
- ・阿武隈川東側の堤防が補強されることにより、防水害にもなる。

### 2-2 われら移住する阿武隈団地（約450世帯）の現状：

- ・昭和40年頃の民間開発団地なので、今の団地開発条件に照らし合わせると、不合格

で道幅も狭く大型車が離合出来ない袋小路、火災時の複数の消防車の出入りは不可能。公園もなく、バスも数本／日、生活環境の改善が遅れ（安全な道路、防災対応）ている。旧市街地扱いであるが、実態は市街中心部とは差があるようだ。

2-2-1 対策：(市長あてに自治会要望書として提出してあるもの)

a 美術館バス停に抜ける道路を新設

- ・メイン道路の袋小路がなくなり、緊急車両の出入りが容易となる。
- ・東部ニュータウン行きのバスの一部をこの団地経由させることで、学生、老人（後期高齢者は200人を超える。その数は創立50年の団地なので益々増加）など車に乗れない人にとって便利になる。
- ・冬季積雪時は急坂のない美術館側からの出入りが容易である。

b 団地に公園を新設

・新設道路工事が出る廃土を自治会会館の北側の窪地に埋め、そこを公園として整備する。広さもゲートボール場2面は取れると思われる。

- ・近くには公衆電話BOXもあり、緊急避難場所にも使える。
- ・夏、秋祭り、など道路で行っていた自治会行事が安心して開ける場所となる。

c 県道73号からあぶくま台入口（市道）の交差点(T字路バス路線)の安全確保

- ・まずは信号機設置（カーブミラーでは不十分、且つ夕日逆光により役に立たないシーズンがある）。
- ・県道、市道の停止線などの交通安全表示・標識の設置。
- ・交差点の拡大拡幅（市道側のコーナーの拡幅も含む）。
- ・県道の道路標示。（路肩、センターライン、交差点道路標示、横断歩道、etc.・・・）

3. 公民館に行政センター機能追加

3-1 東部地区に行政センターはないが、新しく箱物は作らず、公民館にその機能を追加しデジタル化を推進、事務作業のスリム化を図り効率を上げる。

3-2 小学校単位の地域活動をメインに、公民館が中心となり横との連絡調整拠点とする

3-3 地域の自治会は公民館と良く連絡を取り、行政との接点として活用する。

3-4 東部地区(町会) 連合会、明るいまちづくり推進委員会、社会福祉委員会、交通安全協会、防犯協会、・・・、緑ヶ丘団地、三春町（ダム、斉藤の湯、滝桜、等交流地点でもある）等のコーディネーター役となる。

3-5 小学生を地域で見守り育てる（公民館の活用）

小学校の行事、学童保育、課外授業・部活などに地域住民（自治会ボラティア、シニア経験者）が関わる。（教育委員会、子供課、公民館、見守り隊など横の連携強化）

4. その他市全体に関すること

4-1 障がい者との共生システムの構築

- ・障がい者本人・障がい者が属する団体・障がい者と関わる医者・障がい者担当行政者・

障がい者サポーター（プロ）・教育機関者（特殊学校、学級）・ボランティア・・・個人情報開示出来ない昨今、上記メンバーとコンタクト出来ない場面が多くなり、障がい者へのサービス、助け合い、等現状を把握出来ず戸惑うことが多い。

上記の人が定期的に一堂に会して、お互いの不具合や、その改善策を話し合う場を設けて欲しい。特に視覚障がい者関係者に望む。

#### 4-2 地産地消型で農業の活性化

東部地区は郡山の野菜箱といってよい環境にある。まず地域の保育園、幼稚園、小学校、中学校の給食には何かの形で必ず使用する。また給食室を活用し地域の食材を使い地元ならではの料理を披露できる場所設け、イベント時の観客に提供する。高速道路郡山東ICと郡山南IC間の高速料金は無料化し、東部地区の野菜の市場出荷をやり易くする。

#### 4-3 老人、障がい者等の移動対策

老人の割合が増え、自家用車運転できなくなる。デマンドタクシーも然ることながら、無人シェアカーの導入を実験的にどの自治体より先行する姿勢が欲しい。企業体も乗ると思う。老人向けのタブレットを貸与し、デジタルの便利さを教育する。